

第Ⅰ回 立川市多文化共生推進プラン検討会議 会議録（要旨）

■開催日時 令和6年5月16日（木） 午後7時～午後8時45分

■開催場所 立川市役所 2階 209会議室

■出席者 <委員>大槻委員、倉八委員、上田委員、北岸委員、木下委員、黄委員
関口委員、藤原委員、渡邊委員

<事務局>太田市民生活部長、福邊市民協働課長、早野多文化共生係長

■欠席者 <委員>王委員

■傍聴者 なし

■次 第

1. 開 会
2. 委員委嘱辞令の交付
3. 市民生活部長挨拶
4. 委員の紹介
5. 議題
 - (1) 正副会長の選任
 - (2) 会議の公開について
 - ①会議の傍聴について
 - ②会議録の作成について
 - ③委員名簿の公開について
 - (3) 立川市第5次多文化共生推進プランについて
 - (4) 立川市の外国人の状況について
 - (5) 立川市第4期多文化共生推進委員会報告書について
 - (6) 立川市在住外国人アンケート調査報告書について
6. その他 ・今後の日程について

■配布資料

1. 立川市第5次多文化共生推進プラン検討会議設置要綱
 2. 立川市第5次多文化共生推進プラン検討会議委員名簿
 3. 立川市第4次長期総合計画後期基本計画 政策体系
 4. 立川市第5次多文化共生推進プランについて
 5. 立川市第4次多文化共生推進プラン
 6. 立川市の外国人の状況について
 7. 立川市第4期多文化共生推進委員会報告書
 8. 2023年度立川市在住外国人アンケート調査報告書
- （参考）広報たちかわ令和5年11月25日号、やさしい日本語ブックレット

■会議内容（要旨）

1. 開会

2. 委員委嘱辞令の交付

市民生活部長より、委嘱状伝達

3. 市民生活部長挨拶

日本、立川市においても外国人人口が急増しているので、第5次プランに向けてますます多文化共生の推進が重要になってくると認識している。皆様方に日頃感じている様々な課題等を出していただきながら、よりよい第5次プランができればと思っているので、よろしくお願いいたします。

4. 委員の紹介

各委員より、自己紹介、所属団体の紹介

5. 議題

（1）正副会長の選任

推薦により、会長に大槻委員、副会長に倉八委員を選任

（2）会議の公開について

会議の傍聴、会議録の作成、会議の公開について説明

（3）立川市第5次多文化共生推進プランについて

○資料3「立川市第4次長期総合計画後期基本計画 政策体系」について説明

○資料4「立川市第5次多文化共生推進プランについて」を説明

・第5次多文化共生推進プラン検討会議では、令和5年度に実施した「在住外国人アンケート」、第4期多文化共生推進委員会の報告書などを参考にしながら意見を出していただきたい。

・令和6年度は、6回程度検討会議を開催し、11月を目途に提言書まとめていただく予定となっている。

（4）立川市の外国人の状況について

○資料6「立川市の外国人の状況について」を説明

- ・国籍別外国人人口、言語別外国人登録者数、在留資格別外国人人口について説明
- ・立川市の外国人人口は増加していて、人口に対する割合も増えている。
- ・ベトナム、ネパール、インドネシア、ミャンマーの方の割合が増えている。
- ・国籍の多様化にともない、使用言語も多様化している。

(5) 立川市第4期多文化共生推進委員会報告書について

○資料7「立川市第4期多文化共生推進委員会報告書」について説明

- ・第4期多文化共生推進委員会は、令和4～5年度の2年間で、令和2年に策定した「立川市第4次多文化共生推進プラン」に掲げる各施策の具体的な実施方法を検討した。
- ・立川市の多文化共生施策の「今後の課題」をまとめ、報告書に記載した。

(6) 立川市在住外国人アンケート調査報告書について

○資料8「2023年度立川市在住外国人アンケート調査報告書」について説明

- ・調査は、第5次多文化共生推進プラン策定のための基礎資料とするために実施した。
- ・「立川市での生活について」「災害時の対応について」「日本語について」「子どもについて」のテーマで質問を設定し、自由記述欄でもご意見をいただいている。

6. その他

○各委員が立川市の多文化共生の施策についての意見を発言

- ・外国人に向けた災害時の対応が十分でないところがあると感じている。学校等で若者への啓発活動も進めていけると良いのではないかな。
- ・教育現場において、外国ルーツの子どもたちが言語で困っているのに放置されている状況がある。早期に発見し、対応することが重要であると感じている。
- ・外国人の子どもの問題は、日本に連れてきた親が、どれだけ日本社会に対する理解があるかが重要である。子どもは葛藤を抱えて生活している。親は日本社会に慣れることに一生懸命で忙しい。家庭環境をどのように改善するかが、子どもが成長するときに大きく影響すると思う。
- ・文化が違うことで誤解されることがあるが、みんなで仲良く楽しく生活できるようになることを望んでいる。
- ・外国人の住宅問題について課題を感じている。日本ではゴミ出しがわかりづらかったり、音などについて敏感な方が多かったりという点も気になっている。
- ・音の問題など、日本人と外国人の考え方、文化の違いがあるので誤解が生じやすい。
- ・医療について、コミュニケーションの方法を改善すれば、相互理解が図れるのではないかと感じている。
- ・市内にやさしい日本語や簡単な英語で書かれた案内表示が少ない。
- ・立川市は情報発信が弱い。デジタル化が進みSNSが普及する等、世界的に状況が変わっている中で、どのように多文化共生を進めていくかが課題であると感じている。
- ・生活習慣等が違うので、「私たちの常識が外国人の非常識、外国人の常識が私たちの非常識」になるけれどもそれが始まりだ、ということを若い世代から伝えていくことが大切である。
- ・立川市在住の外国人が、防災マップや一次避難所のことを知らないことに驚いたことがある。不特定多数の外国人へ呼びかけても、外国人に届いていないので、やり方を変える必要がある。企業等と連携していくことが重要なのではないかな。
- ・若い世代に国際交流の機会を作っていくことが重要である。
- ・多文化共生で、暮らしやすいまち立川だけでなく、暮らしやすく働きやすいまち立川ということを目指していかないと選んでもらえないのではないかな。

- ・子育て世代の外国人に、情報交換する場を作っていく必要があるのではないか。
- ・外国人への情報周知について課題と感じている。外国人相談なども、どのようにしたら手が届けられるかを考えていく必要がある。
- ・皆さんの意見は全てつながっていると感じた。災害に関することは市内の案内表示に、教育の課題は親の子どもに対するケアに、教育は当然ながら生活に、住居の問題は制度や就労の課題に関わってくる。コミュニケーションと制度が複雑に絡み合っている。
- ・課題はあるが、立川市には歴史、財産がある。情報発信や連携をこれからの課題としてクリアしていけば良いのではないかな。

○今後の日程について

- ・会議の成立について説明
- ・次回の日程は、7月9日（火）に決定
場所は、市役所2階210会議室とする。